



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 チタン工業株式会社
コード番号 4098 URL <http://www.titankogyo.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 渡邊 一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 中村 茂

TEL 0836-31-4155

四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	2,887	△9.3	△40	—	△53	—	△60	—
28年3月期第2四半期	3,182	5.2	73	134.3	58	203.7	52	413.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	△2.02	—
28年3月期第2四半期	1.75	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
29年3月期第2四半期	11,118		5,322		47.9
28年3月期	11,371		5,466		48.1

(参考)自己資本 29年3月期第2四半期 5,322百万円 28年3月期 5,466百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,000	△4.8	30	△83.1	20	△85.8	10	△91.9	0.33

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	30,276,266 株	28年3月期	30,276,266 株
29年3月期2Q	185,555 株	28年3月期	182,928 株
29年3月期2Q	30,092,560 株	28年3月期2Q	30,097,614 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
3. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、政府による経済政策や日本銀行の金融緩和策を受けて、緩やかながら景気回復の動きがみられましたものの、中国を始めとするアジア新興国経済の減速や英国のEU離脱問題など、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような情勢のもとで、当社は、3カ年の新中期事業計画に基づき、基盤事業の再構築、コア事業の収益拡大及び新規事業の強化を通じて、持続的な成長に向けた収益基盤の強化に取り組んでまいりました。

その結果、超微粒子酸化チタンの新製品の採用決定などの成果をあげることができましたものの、チタン酸リチウムの出荷数量が大幅に減少いたしましたので、当第2四半期累計期間の売上高は、2,887百万円（前年同期比9.3%減）となりました。

一方、損益面につきましては、売上高の減少、設備稼働率の低下及び諸経費の増加などにより、営業損失は40百万円（前年同期は営業利益73百万円）、経常損失は53百万円（前年同期は経常利益58百万円）、四半期純損失は60百万円（前年同期は四半期純利益52百万円）となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

(酸化チタン)

酸化チタンにつきましては、一部ユーザーでの在庫調整の影響を受け、出荷数量が減少いたしました。コア事業の超微粒子酸化チタンにつきましては、トナー外添剤向け及びUVカット化粧品向け新製品の採用決定により、出荷数量が増加いたしました。新規事業のチタン酸リチウムにつきましては、電気自動車向けの需要が低迷し、出荷数量が大幅に減少いたしました。

以上の結果、当セグメントの売上高は2,033百万円（前年同期比7.5%減）となり、売上高の減少、酸化チタン及びチタン酸リチウムの設備稼働率の低下並びに諸経費の増加などにより、営業損失は41百万円（前年同期は営業利益61百万円）となりました。

(酸化鉄)

酸化鉄につきましては、塗料向け製品は需要の回復により、出荷数量が増加いたしましたものの、トナー向け製品は市況の低迷により、出荷数量が減少いたしました。

以上の結果、当セグメントの売上高は828百万円（前年同期比13.8%減）となり、売上高の減少及び設備稼働率の低下などにより、営業損失は7百万円（前年同期は営業利益5百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

資産につきましては、商品及び製品、原材料及び貯蔵品などの増加があったものの、受取手形及び売掛金、機械及び装置などの減少から、当第2四半期会計期間末11,118百万円と前事業年度末に比べて252百万円減少いたしました。

負債につきましては、賞与引当金などの増加があったものの、短期借入金、長期借入金などの減少から、当第2四半期会計期間末5,796百万円と前事業年度末に比べて108百万円減少いたしました。

純資産につきましては、四半期純損失の計上、配当金の支払いによる利益剰余金などの減少から、当第2四半期会計期間末5,322百万円と前事業年度末に比べて144百万円減少いたしました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間におきましては、税引前四半期純損失、たな卸資産の増加、短期借入金、長期借入金の返済などの資金減がありましたものの、減価償却費、売上債権の減少などの資金増によりまして、前事業年度末に比べて4百万円増加（前年同四半期累計期間は32百万円減少）しており、資金の残高は375百万円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期の実績及び今後の見通しを勘案し、予想数値を修正しております。詳細は本日（平成28年11月10日）公表の「平成29年3月期第2四半期累計期間業績予想数値と実績値との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、通期の見通しにつきましては、売上高は6,000百万円、営業利益は30百万円、経常利益は20百万円、当期純利益は10百万円を見込んでおります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	372	377
受取手形及び売掛金	1,537	1,116
商品及び製品	1,452	1,508
仕掛品	580	541
原材料及び貯蔵品	378	527
その他	37	35
流動資産合計	4,359	4,106
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,651	1,635
機械及び装置(純額)	3,282	3,219
その他(純額)	657	777
有形固定資産合計	5,592	5,631
無形固定資産	6	5
投資その他の資産		
投資有価証券	955	923
その他	469	462
貸倒引当金	△11	△11
投資その他の資産合計	1,413	1,375
固定資産合計	7,011	7,012
資産合計	11,371	11,118
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	597	518
短期借入金	1,100	1,000
1年内返済予定の長期借入金	469	365
未払法人税等	22	14
賞与引当金	87	91
その他	391	748
流動負債合計	2,668	2,738
固定負債		
長期借入金	2,040	1,910
退職給付引当金	689	661
資産除去債務	3	3
その他	502	481
固定負債合計	3,235	3,057
負債合計	5,904	5,796

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,443	3,443
資本剰余金	292	292
利益剰余金	1,302	1,181
自己株式	△35	△36
株主資本合計	5,002	4,880
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	464	441
評価・換算差額等合計	464	441
純資産合計	5,466	5,322
負債純資産合計	11,371	11,118

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
売上高	3,182	2,887
売上原価	2,672	2,461
売上総利益	510	425
販売費及び一般管理費	436	466
営業利益又は営業損失(△)	73	△40
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	9	9
その他	9	10
営業外収益合計	18	20
営業外費用		
支払利息	27	24
その他	5	8
営業外費用合計	33	32
経常利益又は経常損失(△)	58	△53
特別損失		
固定資産除却損	3	5
特別損失合計	3	5
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	55	△59
法人税、住民税及び事業税	2	1
法人税等合計	2	1
四半期純利益又は四半期純損失(△)	52	△60

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	55	△59
減価償却費	339	337
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△0	4
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△34	△27
受取利息及び受取配当金	△9	△10
支払利息	27	24
その他の営業外損益 (△は益)	△4	△2
有形固定資産除却損	3	5
売上債権の増減額 (△は増加)	△121	421
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△205	△165
仕入債務の増減額 (△は減少)	182	△22
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△50	△56
その他	2	6
小計	185	456
利息及び配当金の受取額	9	10
利息の支払額	△27	△23
法人税等の支払額	△5	△8
その他	5	△5
営業活動によるキャッシュ・フロー	168	428
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1	△1
定期預金の払戻による収入	1	1
有形固定資産の取得による支出	△17	△20
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
貸付金の回収による収入	0	3
その他の支出	△0	△0
その他の収入	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△17	△16
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	—	△100
長期借入れによる収入	190	—
長期借入金の返済による支出	△302	△234
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△60	△60
その他の支出	△9	△11
財務活動によるキャッシュ・フロー	△182	△407
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△32	4
現金及び現金同等物の期首残高	521	371
現金及び現金同等物の四半期末残高	489	375

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期損益計算書 計上額(注2)
	酸化チタン	酸化鉄	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,199	961	3,161	21	3,182	—	3,182
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,199	961	3,161	21	3,182	—	3,182
セグメント利益(営業利益)	61	5	66	6	73	—	73

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、副産物等の販売を含んでおります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

② 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期損益計算書 計上額(注2)
	酸化チタン	酸化鉄	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,033	828	2,862	24	2,887	—	2,887
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,033	828	2,862	24	2,887	—	2,887
セグメント利益又は損失(△) (営業損失(△))	△41	△7	△49	8	△40	—	△40

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、副産物等の販売を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

② 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

以上